

| | |
|---|---------|
| 実施日：11月18日（5校時） | |
| 領 域：道 徳（特別の教科 道徳） | |
| 取組名：誰もが自分らしく生きるには（資料「私らしく生きたいな」（自作）） | |
| 対 象：6年生 | 実施場所：教室 |
| <p>ア ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 性についての偏った見方や考え方の誤りに気付き、偏見をなくしていくため、自分なりに行動しようとする態度を養う。 ・ 偏見や不合理をどのように改めていくか、相手の思いに寄り添いながら話し合うことで、誰もが自分らしく生きることができる社会の実現をめざそうする態度を身に付けさせる。 | |
| <p>イ 指導内容（指導略案）や取組の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 資料を読み、黙ってしまったのぞみの思いを考え、話し合う。 ・ 気になったあずさのことばを、のぞみが受け入れやすいことばに変える。 ・ 安心して発言できるように、どの友だちの考えも受け入れながら聞くように助言する。 ・ 異なる考えのうち、より良いものを選択できるようピラミッドチャートを使って話し合わせる。 ・ 映像資料「そうしさん」の語りを基に、ありのままの自分を受け入れてくれる友だちの存在がいかに大切かを知らせる。 | |
| ウ 連携先： 家庭、地域、一宮北中学校、一宮学校園所人権教育推進協議会、Like myself | |
| <p>エ 連携にむけての取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 普段の生活や遊びの中で、子どもたちに気を配り、互いを認め合う言動ができるように温かく見守ってもらうことを、懇談会やPTAの会合などで呼びかける。 ・ Like myselfの方と連絡を取り、授業内容について検討し合い、授業参観のあと授業における性に関する考え方について、意見を交流する。 | |
| <p>オ 組織的な取組とその点検・評価を行ううえでの工夫点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 人権の学習で学んだ内容や子どもたちの意見などをまとめ、誰でも見ることができるよう廊下に掲示している。 ・ 各教科・各領域を通して、伝え合う活動を取り入れた授業実践を行うことを小中全職員で意思統一している。ペア学習やグループ活動を活用し、相手の考えや意見を受け止めてから自分の考えを伝えるように指導している。相手意識をもたせた上で、伝えたいことをまとめさせ、コミュニケーション能力を育てている。 | |
| <p>カ 評価の方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業中の発言 ・ ワークシート、感想 | |
| <p>キ 成果</p> <p>「からだの性とところの性が一致しない」という悩みを主人公の立場で物事を考え、ピラミッドチャートを利用して、友だちと自分の意見を比べ、真剣に話し合っていた。ふり返りに、「悩んでいる人だけでなく周りの人たちが分かることが大切」という内容があり、深い学びができたと思う。</p> | |
| <p>ク 課題</p> <p>全学年で性の多様性の授業に取り組んで4年目を迎えている。各個人の知識としてだけでなく、他校や地域等、外部へ学んだことを発信できるように指導を重ねることが課題である。</p> | |